

① 初期学習

【教材の紹介】

●重さに気づく

いろいろなもの（大きさ・重さ・形状などが異なるもの）を、仰向けの子どもの額や脚にのせる。

- ・プラスチックの板（直径10cmほど）
- ・お手玉
- ・チャフチャ



いろいろなものを、額に置く→額から取るという動きで、1回とする。脚も同様。

<額> お手玉を1つ置くと、舌がわずかに動き、お手玉を2つ積み上げると、さらに舌が動いた。横に2つ並べて置くと置いている最中に力が入り、置いた瞬間、力を入れて、顔が左右に動く、舌が動く様子が見られた。さらに、顔の動きが上下に頷くような動きに変化した。

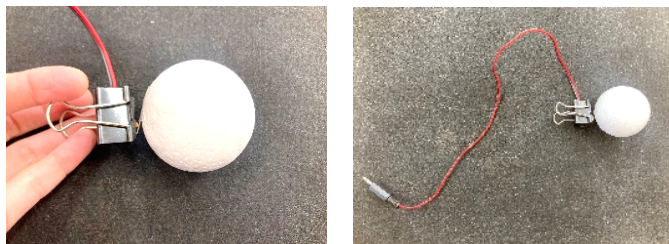
<脚> 軽いお手玉（いちご）と重いお手玉（青）とを、脚の甲に交互に乗せる。いちごを乗せると、一瞬力を入れる様子が見られた。次に青のをのせようと脚に触れさせると、脚先全体を震わせて力を入れた。教師がお手玉を取り上げると、その直後力が入った。

<2025年 冬季研究会 事例Ⅰ>

●触って、動かして、気づく①ボールスイッチ

発砲スチロールのボールにマイクロスイッチを付けたもの

。

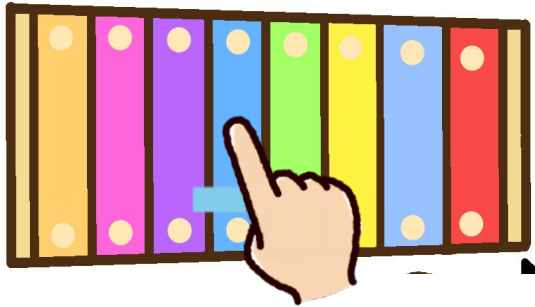


ボールを当てると、それを意識してか、わずかに動きが見られた。眉毛は上に引き上げたり、下げたりする動き、顎では顔自体を反らせ、顎を上げるような動きが見られた。

<2025 年 冬季研究会 事例Ⅰ>

●触って、動かして、気づく②てっきん絵本

小さな力でも音板を押して音が出せる鉄琴を、脚の下に提示し、足の指に触れさせる。



全身や脚先に力が入る。鳴らすというよりは、指を動かしたり、力を入れたりしている。特に親指は、上げたり下げたりする動きがとても大きい。親指を動かして音を鳴らすが、親指以外の指は動きを止め親指を動かすための支えになっているようだった。

<2025 年 冬季研究会 事例Ⅰ>